

小さな大使事業で室蘭・海星学院高

タイの高校生との交流を前に、室工大留学生からあいさつを学ぶ生徒たち



タイ交流を前に言葉学ぶ

公益財団法人イオン1%クラブの国際交流プログラム・ティーンエイジアンパスター(小さな大使事業)に選ばれた室蘭・海星学院高校(塚俊光校長)の事前学習が30日、同校で行われた。11月5日からのタイの高校

生来日に向け、生徒たちが文化や言葉を学んだ。小さな大使事業は日本と海外の高校生が互いに訪問。本年度は同校など全国3校が選定された。タイの高校生は5、12日に来日。同校には男女10人が訪れホ

ームステイが予定されていることから、事前学習に取り組んだ。全校生徒214人が参加。室蘭工業大学大学院博士課程3年のタイ人留学生、クワイリン・ボナン・アップルさんが、タイの

文化や言葉を分かりやすく説明した。自己紹介の表現では、手を合わせながら「こんにちはを表すサワディーカップは男性、女性はサワディーカー」などと伝え、生徒たちは互いに声に出しながらタイの生徒との触れ合いに期待を膨らませていた。(栗島暁浩)